



SDGsの視点から環境・社会・経済  
の変容を考える

2022/10/28～2023/1/27\_\_全3回

京都超SDGsコンソーシアム

(本件幹事企業：株式会社国中環境開発)

# 「SDGs」とは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を良くするための17の目標



## ◆国連において2015年に採択された世界共通の目標

- 持続可能な開発目標＝Sustainable Development Goals
- 17の目標及び169の指標からなる2030年に向けた指針

## ◆京都大学における「SDGs」

- 本学においては、SDGsの達成に資する研究・教育・社会貢献活動が、長年、多様な形で展開されてきた。そして、SDGsの概念や年限を超えたものも多く存在する。言葉にかえれば、本学の理念にある「地球社会の調和ある共存」に集約されるかもしれない。それらも評価され、世界の大学SDGsランキングでは、日本一位にランキングされた。
- また、最近では、多くの学生さんが、SDGsの実践活動に関わり、若い感性でユニークなアプローチを展開している。
- 他方、SDGsやそれを取り巻く状況については、賛否様々な意見も存在し、議論が尽きない。
- 議論を続けながらも、世界や地域におけるSDGsの取り組みが、真に持続可能な社会の実現につながるように、研究・教育・社会貢献活動を通じて学術的に貢献していくことが求められる。
- 本プログラムは、社会(今回は皆様)との対話を通じ、それを実現する第一歩としたい。

- ◆この通り、「SDGs」と言っても、人や組織それぞれの捉え方がある。プログラムの最後には、参加者それぞれの言葉で伝えられるようになることを目指したい。



# 「京大SDGs研究会」 2022年度概要

参考：昨年度の実施内容 [【後掲】](#)

2021年度は「脱炭素社会の実現に向けて」具体的な見識を深めてる取組をしました。今回は、今までの研究会のテーマを踏まえて、これからの社会の変化を考えてみたいと思います。

## 【研究会の概要】

○会員：SDGsを深く理解し、真のSDGs目標の設定を望む法人（毎年度20法人限定）

（ex.）SDGsに対する自社独自の新たなアプローチを模索する法人

○実施日程：2022年 10月28日（金）、12月23日（金）、2023年1月27日（金）

○開催地/方法：京都大学オンサイト、ことす、オンラインその1※1、オンラインその2※2

研究会終了後懇親会開催を予定（参加は任意、新型感染症流行の状況により中止の可能性があります）

※1オンラインでの講義受講＋グループディスカッション（ZOOMを使用）

※2オンラインでの講義受講のみ（ZOOMウェビナーを使用）

研究会終了後懇親会開催を予定（参加は任意、新型感染症流行の状況により中止の可能性があります）

○会費：10万円/法人・全三回とおし（オンサイト+オンライン含め5名まで参加可）

1万円/一回（一名あたり）

※自治体・NPO・市民の方でオンラインのみ（その1※1）の場合3回5千円の特別枠あり。学生は無料。

※京都SDGsパートナー制度登録事業者の方でその2※2の無料参加枠あり

## 【2022年度テーマ】

環境・社会・経済の変容

SDGsの17のゴールを達成するために、何をどう変えていかなければならないか？またどのように変わればよいのか？環境・社会・経済三つの側面から、その方面の有識者の方々を招いて、個人、法人、産、官、学立場を問わず、ご参加頂く皆様方と共にこれからを想像し、何のために何をしうるかを考え、自らの変革の参考にして頂きたいと考えてます。

## 【体制】

○研究会コーディネーター：浅利美鈴 京都大学地球環境学堂 准教授

○事務局：株式会社国中環境開発

○主催：京都超SDGsコンソーシアム（産学公でSDGsの社会実装を目指す） [【後掲】](#)

○共催：エコ～ると京大 ほか

## 講義 & ディスカッション & 実践活動を通じて、 貴社におけるSDGsのエキスパートを育成。

目指す人材:

- SDGsについて、ひと通りのことは理解している。
- SDGsについて、情報感度もよく有益な人脈もある。
- SDGsを使って、俯瞰的に社会を見ることが出来る。
- SDGsに関して、柔軟な発想をすることが出来る。
- SDGs視点で、貴社事業を考察することが出来る。
- SDGsに対して、疑問を持ち続けることが出来る。
- SDGsについて、あらゆる種類の相談を受けることが出来る。
- 不確実な世の中や将来を前にしても、SDGs的な視点で生産的な考え方や行動をとることが出来る。



**この人材が、「目標設定」「経営への統合」等、  
貴社内SDGs議論のキーパーソンとなります。**

# 「京大SDGs研究会」の内容①

## 【各回前半】

### □SDGs各テーマ深掘りプログラム(講義)

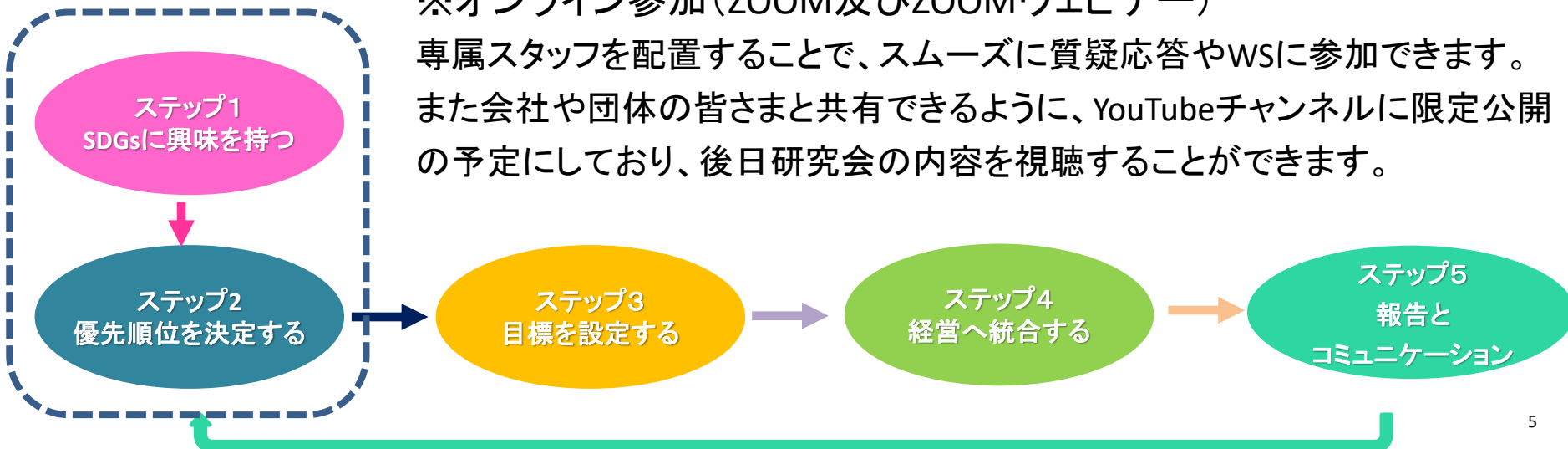
○SDGsテーマについて京都大学研究者の視点から、深い議論のきっかけとなる現状の分析や、課題をあぶり出すようなプレゼンテーションを行い、SDGsの新たな視座を探る。

【講師例】 浅利美鈴准教授・・・地域におけるSDGs教育の展開、循環型社会構築活動 ほか  
諸富徹教授 …………… 財政学、環境経済学  
藤原辰史准教授 …… 歴史学(農学史、環境史)  
内田由紀子教授 …… 文化心理学、社会心理学  
分野横断的に様々な分野の先端のお話を聞け、質疑時間も十分に取ります。

◎講義については、参加者の意向も聞きながら調整して行きます。

※オンライン参加(ZOOM及びZOOMウェビナー)

専属スタッフを配置することで、スムーズに質疑応答やWSに参加できます。  
また会社や団体の皆さまと共有できるように、YouTubeチャンネルに限定公開の予定にしておき、後日研究会の内容を視聴することができます。

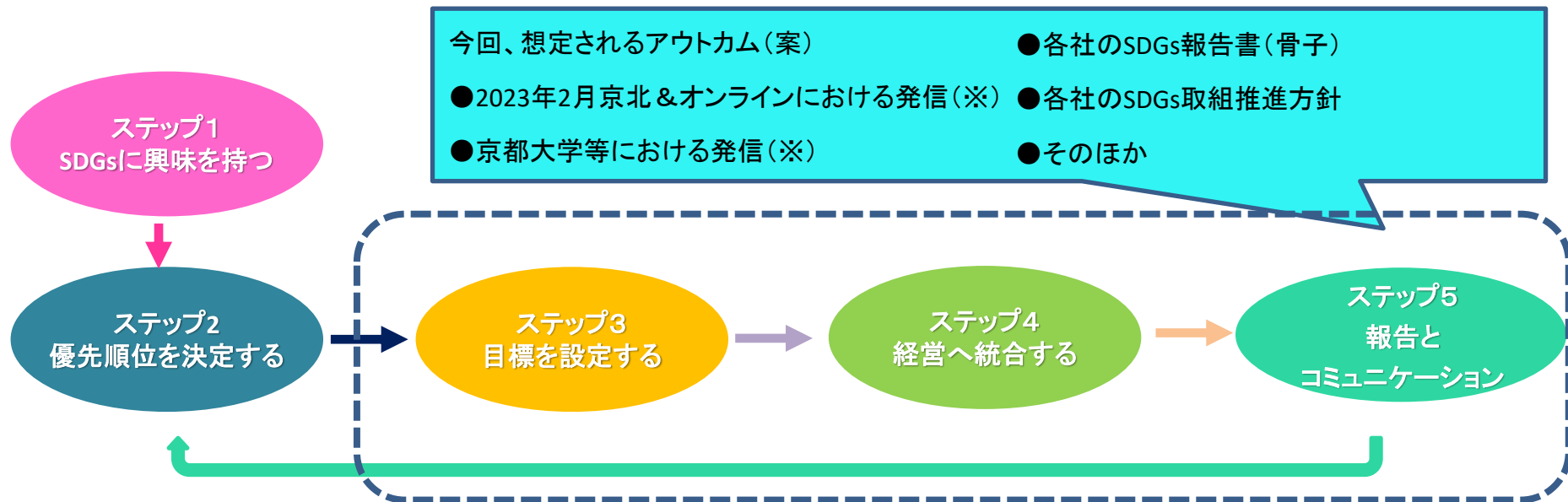


# 「京大SDGs研究会」の内容②

## 【各回後半】

### □SDGs自分ごと化プログラム(ワーク&ディスカッション)

- 講義内容に関して質問をすることでSDGs的な視点を獲得していく。
- 研究者、他企業、学生とのディスカッションを通じてSDGsのツールとしての活用方法を見出していく。  
(自分と他人との物事の受け止め方の違いを実感し、ダイバーシティの大切さを学ぶ。)
- エビデンスベースでの最新調査や研究結果の数値をもとに、自社での目標設定へのヒントを得られる。
- リモートワークやオンライン交流、里山滞在等の実践により、自社での展開のノウハウが獲得できる。



※ 2023年2月中に京北地域にて、SDGs関連のイベントを実施予定です。また、京都大学でも様々なイベントを予定しています。

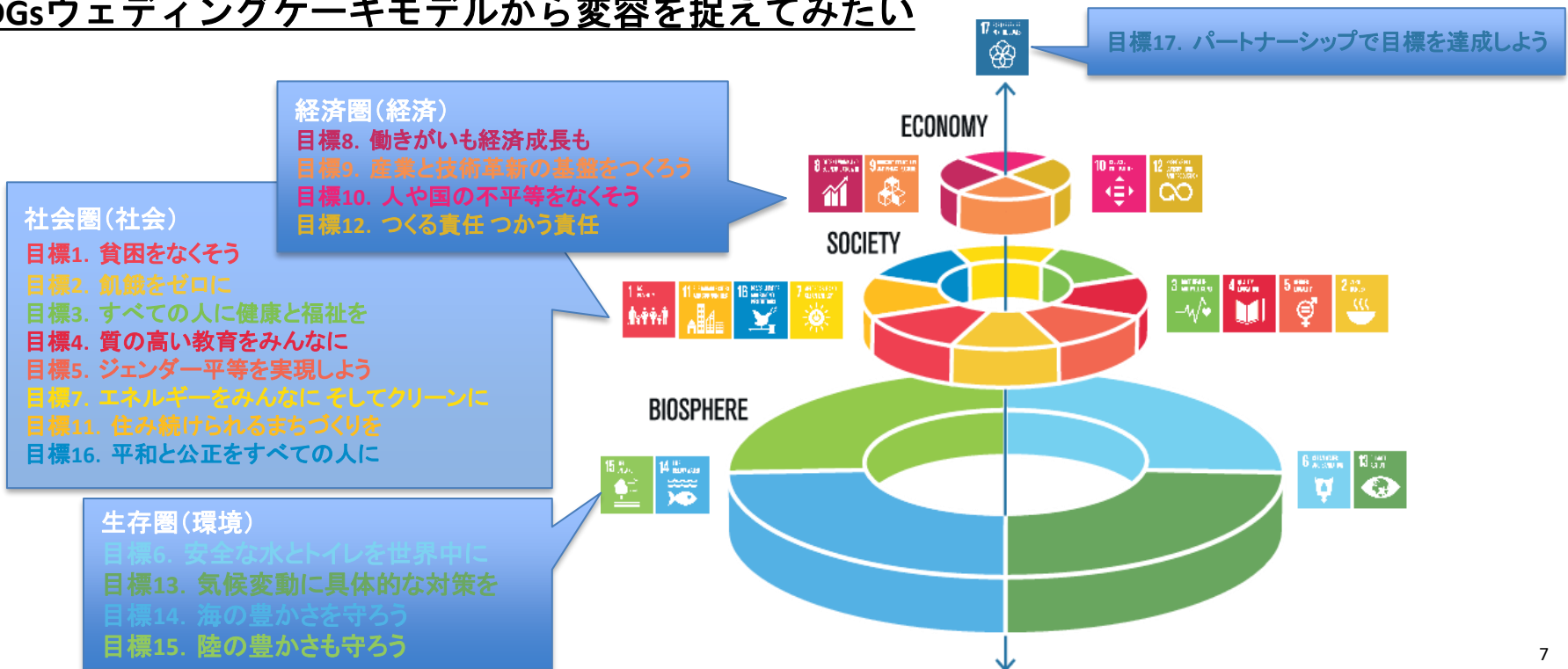
# 「京大SDGs研究会」 2022年度のプログラム

## ～SDGsの視点から環境・社会・経済の変容を考える～

### 今回の趣旨：

2015年に国連でSDGs採択されて7年が過ぎました。その間世界には様々な問題が発生しております。環境では廃プラスチックによる海洋汚染を筆頭に各国では異常気象による熱波や台風の襲来、大規模な森林火災や干ばつ、新型感染症の世界流行、経済では成長の鈍化、格差の拡大、慢性的な人手不足、社会では少子高齢化による人口減少、経済格差による教育機会の不平等、ダイバーシティ推進の遅延など様々な問題があります。問題が山積し、混乱した中、先行きが不透明で、何から解決していけばよいのか？悩ましいところです。上述した「環境」「経済」「社会」それぞれレイヤーどれでもが、私たちが生活を営む上で必要不可欠で、相互に深い関係性を持ち影響しあっています。今回は、各レイヤーについて現状と課題、これからの方向性を有識者を招いて皆さんと一緒に深く議論していきたいと考えています。

### SDGsウェディングケーキモデルから変容を捉えてみたい



# 第1回 10月28日(金) 14:00-17:30 『脱炭素化による経済のこれから』

場所:

オンサイト: 京都大学\_\_地球環境学堂(大会議室)

オンライン: リンクを共有

## <趣旨説明等>

SDGS研究会テーマや本プロジェクトの目的など

-浅利 美鈴氏より

5min

## <レクチャー>

「日本における脱炭素化の動き」(仮)

-井上 雄祐氏による レクチャー&質疑応答

60min

## <交流ディスカッション>

-自社での脱炭素化の取り組みについて

50min

## <レクチャー>

「脱炭素化による経済の変容」(仮)

-諸富 徹氏による レクチャー&質疑応答

90min

-事務局より今後の説明

5min



浅利美鈴

京都大学大学院  
地球環境学堂准教授

「ごみ」や「環境教育」が研究テーマ。  
また、「びっくり!エコ100選」や「びっくりエコ発電所」「3R・低炭素社会検定」「エコ〜るど京大」「京都超SDGsコンソーシアム」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。



井上 雄祐

環境省 地球環境局  
脱炭素ライフスタイル推進室長



諸富 徹

京都大学大学院  
経済学研究科教授

★事務局お薦めの参考情報:

著書「資本主義の新しい形」は、直接SDGsに言及していませんが、政策、雇用、教育、脱炭素と多岐にわたる内容を網羅しており、一読して頂きたい内容になってます。



# 第2回 12月23日(金) 14:00-17:00 『気候変動による環境の変化』

場所：  
オンサイト：京都大学\_\_地球環境学堂(大会議室)  
オンライン：リンクを共有

## <前半レクチャー>

「農業や食から読み解く環境の変化とこれから」(仮)

-藤原 辰史氏による レクチャー 90min  
-質疑応答

## <後半 ディスカッション>

70min(ディスカッション40min 発表20min 総括10min)

藤原辰史氏のレクチャーを受け、グループディスカッションを行います。グループディスカッションのテーマは特に定めず、感想、質問、意見などをレクチャーの内容に沿って各グループで自由に行って頂きます。結果を各グループごとに発表して頂き、藤原氏に総括して頂く予定です。



## 藤原辰史

京都大学  
人文科学研究所  
准教授

★事務局お薦めの参考情報：エコ〜るど京大プレゼンツ「勝手に集中講義2021」にて、ご専門によらず、幅の広いお話しを聞くことができます。

<https://www.youtube.com/watch?v=SJSATUYNna8>

お勧め著書：

「分解の哲学 腐敗と発酵の哲学」分解(腐敗・発酵)をキーワードに様々な思考的洞察を提示し、改めて私達が生きる世界を再考させてくれる著作です。

# 第3回 1月27日(金) 14:00-17:00 『SDGs目標達成と私達の幸福感』

場所:

オンサイト: 京都大学\_地球環境学堂(大会議室)

オンライン: リンクを共有

## <前半レクチャー>

「SDGs目標達成で社会はどう変わるのか」(仮)

-内田 由紀子氏による レクチャー 90min

-質疑応答

## <後半 ディスカッション>

70min(ディスカッション40min 発表20min 総括10min)

内田由紀子氏のレクチャーを受け、グループディスカッションを行います。グループディスカッションのテーマは特に定めず、感想、質問、意見などをレクチャーの内容に沿って各グループで自由に行って頂きます。結果を各グループごとに発表して頂き、内田氏に総括して頂く予定です。



## 内田由紀子

京都大学

こころの未来研究センター  
教授

★事務局お薦めの参考情報:

著書(分担執筆)「資本主義と倫理 分断社会をこえて」では、自ら話題提供を行った上で、様々な経済学分野の先生方とパネルディスカッションをされております。その中で、資本主義が人の幸福をどうもたらすかを問いかけます。

近著で「これからの幸福について 文化的幸福感のすすめ」もお勧めです。

# 「京大SDGs研究会」2022年度のプログラムを支えるメンバー

## ●事務局：株式会社国中環境開発



國中 雅之  
常務取締役

そもそも、今ある企業は何らかの形でSDGsに関わっていると考えます。当社は廃棄物の処分をとおしてSDGsに関わっています。今後はそれだけではなく、様々な領域でSDGsに関わっていき、持続可能な社会を実現すべく活動を行っていきます。

## ●京都大学

浅利 美鈴

京都大学大学院 地球環境学堂 准教授  
「ごみ」や「環境教育」が研究テーマ。  
また、「びっくり！エコ100選」や「びっくりエコ発電所」「3R・低炭素社会検定」「エコ〜るど京大」「京都超SDGsコンソーシアム」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。



河村 翔

京都超SDGsコンソーシアム事務局



# 【参考】昨年度の実施概要

## ● 講師 & テーマ一覧

京都大学大学院	地球環境学堂	准教授	浅利美鈴	導入及びナビゲーション
公益財団法人地球環境戦略研究機関	関西研究センター	プログラムディレクター/上席研究員	小嶋 紋士	「1.5℃ライフスタイル:脱炭素社会を協商するために」(レクチャー)
京都大学	環境安全保健機構 附属環境科学センター	助教授	矢野順也	「ライフサイクルアセスメントことはじめ」(レクチャー)
日本モールド工業株式会社		代表取締役	石原雄大	LCAに自社取組事例紹介(京都大学との共同研究より)
ガラスびん3R促進協議会		理事・事務局長	田中希幸	LCAに自社取組事例紹介(京都大学との共同研究より)
京都大学大学院	地球環境学堂		向田佳	LCAの研究発表
京都大学大学院	地球環境学堂	准教授	トレンチャー・グレゴリー	「脱炭素社会の実現への近道:炭素集約型技術のフェーズアウト」
創価大学	文学部社会福祉専修	准教授	西川ハンナ	「新たな生産性を高める非効率な活動～地域福祉の事例から～」(レクチャー)
株式会社エフピコ		常務取締役	西村公子	「エフピコにおける障がいのある人材の雇用～一人ひとりが輝いて、続ける力は未来へと」(事例紹介)
京都大学	生存圏研究所	教授	矢野浩之	「裏山からクルマを作る」(レクチャー)
株式会社タカラレーベン		社長室長兼経営企画部長	鈴木健介	「当社脱炭素の取り組みとエネルギー事例紹介」
甲南中学校		3年	米倉大司	「京北スマートシティ構想『ルカ計画』水素とロボットで人が集まる町づくり」(プレゼンテーション)

● 参加: 約20の企業・団体

● 主催: 京都大学 ● 事務局: 株式会社国中環境開発 ほか

# 【参考】 SDGsの社会実装を目指す 「京都超SDGs コンソーシアム」



「京都 産学公 SDGs プロジェクト」が2019年6月27日に発足  
(5団体でスタートし、現在約20団体)

## コンソーシアム設置目的

1. 持続可能性・SDGsの視点から、地域社会や個々人のライフスタイルのあり方を議論するシンポジウム等の実施
2. 京北地域を中心とする北部山間地域の森林保全と再生可能エネルギーの利用、環境教育プログラムの開発
3. 京都大学におけるサステイナブルキャンパスモデルの構築
4. 2025年の大阪・関西万博に向けて日本全国で展開されている持続可能な地域の実現に取り組む団体等との連携
5. その他、持続可能な地域の実現に向けた新たな取組主体の発掘や育成及び情報発信



# 【参考】京都超SDGsコンソーシアム

## 【コンセプト】

1,300年の歴史を持つ京都。  
SDGs目標年である2030年を超えて、  
また、17の目標を超えて、  
持続可能な社会の在り方を追及したい。  
その想いを込めて、  
**超SDGs**と謳っています。

考え

行動し

発信



# SDGs MONDOU 問答

養老 孟司      永田 和宏      山極 壽一

毎月第四土曜日  
**京北めぐる市**  
9/24(土) 10/22(土) 11/26(土)  
10:00~16:00 @ ことす

ほかに  
楽しいこと  
があるよ!

木工教室  
地域の物産展  
野菜やお米の収穫体験  
ジビエ(鹿)や美味しい食事  
豪華ゲストによるトークイベント

いきもの  
調査

入場  
無料

イベント詳細

お問合せ 京都里山SDGsラボ〈ことす〉(元京北第一小学校内)  
〒601-0251 京都市右京区京北周山町下寺田11 TEL: 075-748-1986  
営業時間: 月火木金土 10:00~17:00 メール: kyoto.satoyama1@gmail.com

# お問合せ先

## ●京都大学拠点

京都超SDGsコンソーシアム事務局  
京都大学大学院地球環境学堂  
浅利美鈴、河村翔

-----

〒606-8501

京都府京都市左京区吉田本町

Email: [ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp](mailto:ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp)

## ●事務局

株式会社国中環境開発  
國中雅之

-----

〒591-8011

大阪府堺市北区南花田町463-1

Email: [m.kuninaka@kuninaka-env.gr.jp](mailto:m.kuninaka@kuninaka-env.gr.jp)